

令和3年度

移動サービス事例報告会

令和4年3月2日（水）

パネルディスカッション資料

（湖西市、南伊豆町、西伊豆町、御殿場市、島田市の事例）

湖西市「南上の原移動支援サービスについて」 (実施主体) 地区社協

(概要) 移動支援サービスの対象は、75歳以上で、移動手段のない方を対象に、公共施設、買い物等への移動支援を行う活動です。

(実施要領) 会員の登録 利用会員 16名 協力会員 7名

①利用会員・・・サービスを利用する人 原則要介護2～5に認定されていない方

②協力会員・・・サービスを提供する人

普通免許を有する者。自賠責保険や任意保険(対人賠償:無制限・対物賠償:無制限)に加入している自家用車を使用。

(活動範囲) 湖西市内

(利用回数) 原則 月2回まで

(支援内容) 移動支援先は、生活に必要な施設、機関など
医療機関への受診、買い物、居場所・サロンへの参加
金融機関の利用、公共機関等での手続き

(利用日時) 月曜日～金曜日 8時30分～17時まで

※土、日、祝日、年末年始を除く

(費用) 利用料は無料 運行に係るガソリン代実費は利用会員が負担 30円/km

(活動実績) 令和3年5月～12月 12件 (通院 11件、金融機関 1件)



湖西市「南上の原移動支援サービスについて」 （実施主体） 地区社協

☆利用の流れ

- 1 移動支援を必要とする場合は、事務局に対してサービス利用申出(FAX・電話)にて申込みをします。
- 2 依頼を受けた事務局は、移動支援の目的に適合しているかをチェックリストにて確認し、対象・対象外を判断します。
- 3 事務局は、利用会員の移動支援の内容、日時、支援先を詳細に確認の上、協力会員に連絡します。
- 4 事務局は、利用会員に協力会員の氏名を報告し、併せてガソリン代実費を伝えます。

(課題)

- ・高齢者からの声～金額が安いとため申し訳ないと思っている人が多く、遠慮がちである。
- ・協力会員の負担(時間の拘束について)検討が必要。通院だと半日を要するなど
- ・来年度4月から一部の地域で、デマンドタクシーがスタートする。
- ・協力会員の増員

(今後の展望)

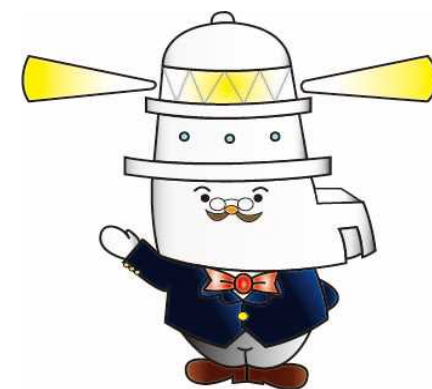
- ・移動支援を生活支援のメニューの中に包括できるよう、今後移動支援のスタッフと検討を行う。

南伊豆町の外出支援サービス



	なのはな号	個人ボランティア	エクレシア号
実施地区	南上地区	町内全域	サロン「ひまわりの会」
実施主体	南伊豆町社会福祉協議会 (えがお☺お助け隊)	南伊豆町社会福祉協議会 (えがお☺お助け隊)	社会福祉法人梓友会
車 両	町有車両 (なのはな号) ※公共交通空白地有償運送用の車両	個人ボランティア所有の車両	社会福祉法人の車両
従事者	運転ボランティア3名 付添ボランティア4名	ボランティア14名	社会福祉法人職員 サロンボランティア
内 容	目的地：スーパー、金融機関 など 活動日：毎週火曜日の午後 負担金：500円/回 謝 礼：500円/回 ※訪問型サービスD事業	目的地：スーパー、金融機関、 医療機関、サロン、 介護予防教室など 利用回数：週1回を上限 負担金：500～1,000円 謝 礼：500～1,000円 ※訪問型サービスD事業	目 的：高齢者サロンの 送迎 活動日：毎月第2火曜日 ※社会福祉法人、町、 サロン代表と覚書を 取り交わし、社会貢 事業として実施。

	なのはな号	個人ボランティア	エクレシア号
実績 ※R4.1月末 現在	ボランティア活動実人数：6人 利用人数：4人／延145人 運行回数：40回	ボランティア活動実人数：9人 利用人数：22人／延99人 運行回数：277回	利用人数：7人／51人 運行回数：8回
課題	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通担当課の協力が必須：町職員以外も車両使用ができるように要綱改正。 運転ボランティアの確保：車両が大きいため、運転できるボランティアが限られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 運転ボランティアの確保：ボランティアが手配できない日が発生している。 ケアプランあり→使い勝手が悪い。 調査～ケアプラン作成までの手間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通所介護送迎用の車両を使用しているため利用できる時間が限られており、他のサロンからの利用希望がない。 サロンから付添を出す必要あり。



令和3年度の取り組み

1. 移動支援部会の実施

◆目的

- ・ 西伊豆町における新たな移動外出支援サービスの創出に向けて検討を行う。

◆参加メンバー

- ・ 運転ボランティア・付添ボランティア・行政担当者・事務局

◆開催頻度

- ・ 2ヵ月に1回程度

◆内容

- ・ 本格稼働に向けた具体的な方法について検討
- ・ 実証実験利用者の基本チェックリスト訪問調査

2. 高齢者の移動外出を考えるセミナーIn西伊豆町

令和3年11月7日実施 西伊豆町中央公民館にて24名参加



3. 福祉有償運送運転者・セダン等運転者講習会

令和3年12月4～5日実施 賀茂健康センターにて12名参加



令和3年度の取り組み

4. 移動外出支援実証実験の実施

外出支援サービス実証実験 参加者募集

西伊豆町社会福祉協議会では、買物や通院などの外出が困難な高齢者が気軽に外出できるように、地域の入々のためにより実施できる取り組みを検討中です。

令和4年度の本格的なスタートに向けて、移動外出支援サービス実証実験に参加を希望される高齢者の方を募集いたします。

ご協力いただける方は、西伊豆町社会福祉協議会までお申し込みください。

参加条件

1. 町内に居住し、次のいずれにも該当される方
 - (1) 65歳以上で公共交通の利用が困難な方
 - (2) 自身又は家族が運転する理由での外出が困難な方
 - (3) 介護予防・生活支援サービスの需要対象者用または要支援者までの方
 - (4) 車庫等の確保が可能な方

※お申し込みいただいた後、社務スタッフの電話にて基本となるお申し込みに関する調査を実施させていただきます。


利用できるサービス

1. 個人運転ボランティア運行
 - (1) 期間（祝日は除く） 令和4年1月14日（金）～3月11日（金）まで毎週金曜日
 - (2) 時間 9時00分～16時00分まで
 - (3) 目的地 利用者が希望する場所まで（ただし町内に限る）
2. 地区内巡回巡回運行
 - (1) 期間（祝日は除く）
 - ① 宇久須 令和4年1月17日（水）～3月9日（水）までの毎週水曜日
 - ② 人田子・地蔵田 令和4年1月19日（水）～3月7日（水）までの毎週水曜日
 - (2) 時間
 - ① 宇久須 9時00分～12時00分
 - ② 人田子・地蔵田 13時00分～14時30分
 - (3) 巡回ルート
 - ① 宇久須 サンスポット・公民館・西伊豆大黒橋・セブンイレブン等
 - ② 人田子・地蔵田 サンスポット・田子店・田子地蔵橋・ストア

利用料金（付添料金）

1. 個人運転ボランティア利用料（月給納金）
 - (1) 1時間まで500円
 - (2) 1時間以上2時間未満500円
 - (3) 2時間以上3時間未満700円
 - (4) 3時間以上4時間未満900円
2. 巡回巡回支援サービス利用料 500円

※サンセットコインの6の紙を払いても可也です。



移動外出支援サービス実証実験 参加申込書

利用方法

1. 町社会福祉協議会
2. 利用する1週間前までに町社会福祉協議会に電話で申し込み
3. 実証実験開始中は1人当り1回まで利用可能
4. 上記の利用時間には制限あり

----- キリトリ -----

申込期間 令和3年12月15日（水）～12月28日（火）

お申し込みいただいた後、社務スタッフが電話にてお申し込みを確認させていただきます。

申込日	令和 3年 月 日
氏名	
生年月日	大正昭和 年 月 日（歳）
住所	〒 - 西伊豆町
連絡先	自宅又は 携帯電話

内容・お申込方法等のご不明な点がございましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。また、お申し込みの際は個人情報、本事務局のみ使用いたします。本事務局のシステムで入力された情報は、お申し込みを中止又は延期となることがございます。ご了承ください。なお、本証実験の実証期間中は、町社会福祉協議会が主催するFacebook「社会福祉協議会」にてお申し込みの状況が随時更新されていきます。

お申込・お問合せ

社会福祉法人西伊豆町社会福祉協議会
 電話：55-1313 FAX：55-1330（担当：藤田・山本）
 （受付時間/平日8：15～17：00）
 〒410-3501西伊豆町半久須258-4
 メールアドレス：nishizu_syakyo@gmail.com

◆ 特徴 & 課題

➢ サービス種類

- 買い物支援型と個人ボランティア運行型2パターンで実施
- ➔ 買い物支援型は利用希望無

➢ ICTの活用

- グループLINEでボランティアと連絡調整
- kintone仕様でボランティア管理・利用者管理・依頼書・報告書連携
- ➔ 本格運用に向けて県社協支援を受けてトレーニング中

➢ 利用料 & ボランティア謝礼

- 国土交通省の助言により利用料等は検討・調整中



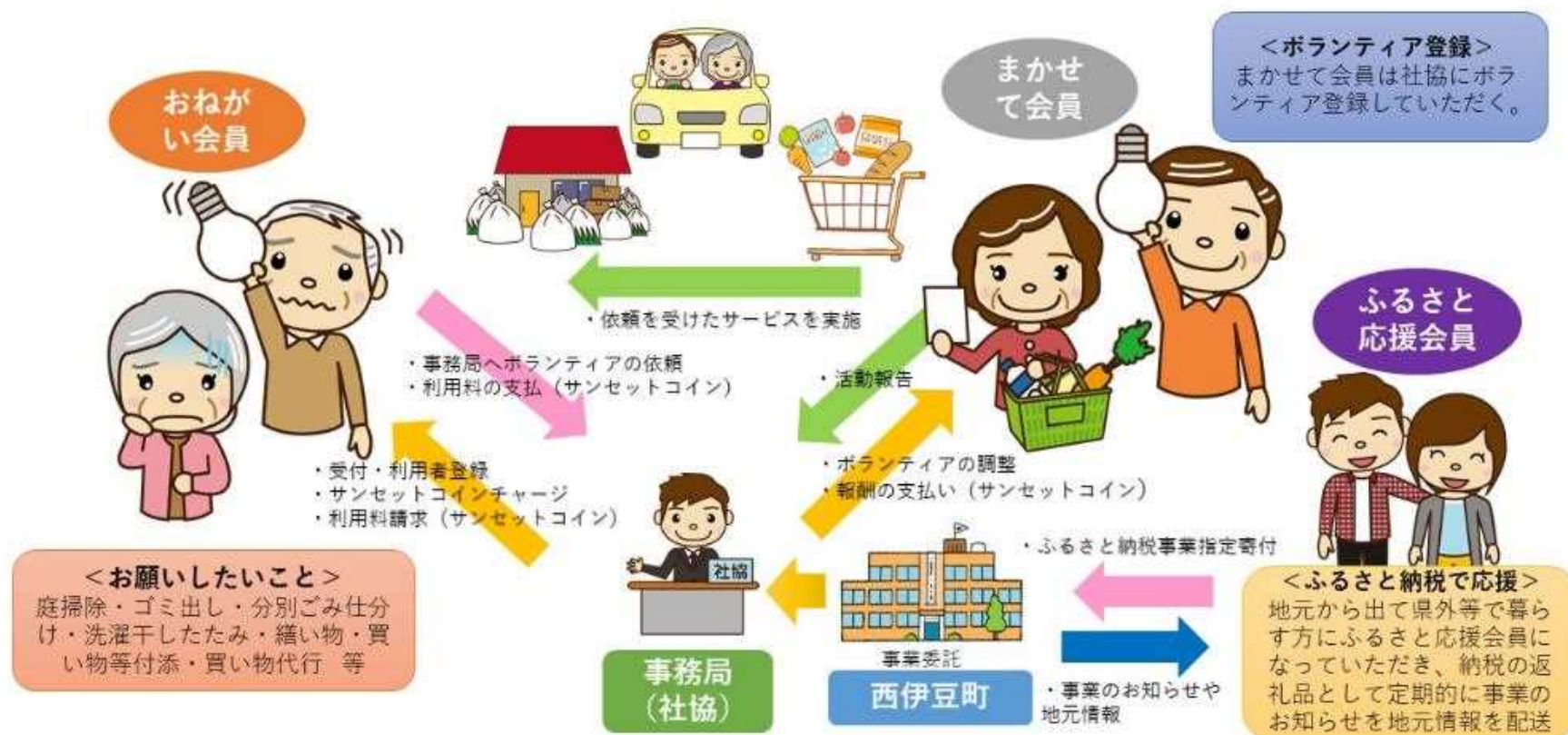
利用者14名 登録ボランティア22名 4件実施対応
 毎週金曜日9時～16時 令和4年1月14日～3月11日まで

社会福祉法人西伊豆町社会福祉協議会 藪田栄和

今後の展開

- ・生活支援と一体型の移動支援を実施予定（令和4年10月スタート予定）
- ・生活支援ボランティア養成講座・運転ボランティア養成講座実施
- ・運動教室送迎サービス実証実験実施予定（令和4年5～6月）

生活・外出支援一体型「せいかつ応援倶楽部」



社会福祉法人等との連携による移動支援

～御殿場市社会福祉協議会の取組～

【移動サービス創出支援事業】

高齢者の日常生活の利便性を向上させるため、移動手段のない方を対象として、社会福祉法人やボランティアとの連携による移動支援(買い物支援)サービスの創出を目指し活動。

また、高齢者のフレイル予防を念頭に置き、週に1回から月に1回の支援を継続的に行う。

助 成 金	令和3年12月から社協自主財源にて助成 新規(立上げ資金)50,000円、継続30,000円
車 両 保 険	令和3年12月から社協で加入 東京海上日動「自動車保険」1回1台1,210円
利用者負担	無料

① 中畑北区買い物支援プロジェクト

(令和2年6月から本格稼働 / 試行7回、本格稼働令和2年度10回、利用者計60人)

令和元年4月、静岡県が行う「移動サービス創出支援事業」のモデル事業に選定されたことを契機として、市役所長寿福祉課と連携して、開始したプロジェクト。
運転ボランティア2人、付添ボランティア2人が、中畑北区在住で移動手段のない高齢者を対象に実施。

<活動内容>

毎月1回6の付く日又は木曜日に実施 10時から12時まで

使用車両 社会福祉法人野菊寮野菊寮車両(ボクシー：8人乗り)

場所 マックスバリュ御殿場原里店



② ほっくばらみんなで支える移動支援プロジェクト

(令和2年9月から本格稼働 / 試行1回、本格稼働令和2年度25回、利用者計96人)

北久原区民から要望により開始されたプロジェクト。
運転ボランティア5人、付添ボランティア1人が、北久原区在住の免許返納や自動車を有しないために移動が困難となった高齢者を対象に移動支援を実施。

<活動内容> [検索！「北久原移動支援YouTube」](#)

毎週木曜日又は6の付く日に実施 10時から12時まで

使用車両 社会福祉法人十字の園御殿場十字の園車両(キャラバン:10人乗り)

場所 マックスバリュ御殿場萩原店



③ 東山・二の岡移動支援サービス

(令和3年10月から本格稼働 / 試行1回、本格稼働令和3年度7回、利用者計49人)

東山区・二の岡区の民生児童委員が、多くの高齢者から「買い物に不便を感じている」との声をキャッチしたことから始まったサービス。

運転ボランティア5人、付添ボランティア（民生児童委員）7人が高齢者の買い物支援を実施。

<活動内容>

毎週1・3火曜日に実施 10時から12時まで

使用車両 小規模多機能型居宅介護あざみ車両(シエント:5人乗り)

場所 マックスバリュ御殿場新橋店



課題 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を余儀なくされることとなりました。(見守り安否確認活動への展開)

【種まきの重要性】

参考：NPO法人全国移動サービスネットワーク副理事長河崎民子氏・認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク理事石山典代氏を講師とする移動支援に関する研修会の実施

<令和元年度> [第2層生活支援・介護予防協議体] 御殿場地域福祉推進委員会 (←北久原区、東山区、二の岡区該当)

<令和2年度・令和3年度>

[第1層生活支援・介護予防協議体] 区長会、民協、農協、6地区地域福祉推進委員会、5カ所包括支援センター、市役所等 計21名

[第2層生活支援・介護予防協議体] 原里地域福祉推進委員会/御殿場地域福祉推進委員会/印野地域福祉推進委員会/富士岡地域福祉推進委員会

*その他、先進地視察、区単位での勉強会も実施

島田市における外出支援のその後①

○高齢者外出支援サービス支援事業（R3年度開始）

- ・ **外出支援サービス実施団体に対する運営費の補助**
（移動支援サービス専用自動車保険料やガソリン代実費相当等）
- ・ **外出支援ボランティア養成講座の実施**
（福祉有償運送運転者講習相当、年2回程度）

保健福祉事業
として実施

**外出支援サービスが安全に継続できるように
新たな団体が取組みやすいように**

島田市における外出支援のその後②

市内での
取組事例

○現在の取組みと今後の課題

- ・ 応援隊（家事身辺援助一体型の外出行支援）
- ・ ゆめバス（市貸与車両による交通空白地での地元主体自主運行バス）
- ・ ふれあいサロン送迎（地元飲食店の送迎バスを活用）

（地域が取組みやすいもの、選択肢を増やせば…）



事業所とのコラボを模索中（空き車両を活用した買物支援等）

それぞれの地域にあった取組みにつなげたい